千葉大学倉阪ゼミでのワークショップの結果概要

１　日　時　平成２７年１２月１７日（木）１８：００～１９：０５
２　場　所　千葉大学西千葉キャンパス人文社会科学系総合研究棟１階共通演習室４
３　出席者　倉阪ゼミの学生１２名
４　ワークショップのテーマ
・　どのようなまちにしていきたい？どういう地域が理想？（実現するための課題、ハードルは何？）
・　まちをよくするために、自分たちができることは何だろう？
５　検討結果

Ａグループ

どんなまちにしていきたい？	自分たちができることは何だろう？
祭りのあるまち 人との交流のあるまち 活気があり和気あいあいとしたまち リア充の多いまち ピープルパワーのあるまち	祭りやイベントの開催。参加するだけでなく、運営に参加。 ブラックデーの普及。恋人がいない人も楽しめる社会に。
芸術のまち	街中で芸術品を展示できるイベントを市民の手で開催する。
市民の顔が見えるようなまち ・地元の自治会では公園の草取りを実施 ・自治会は大人の集まりで遠い存在 ・アパート暮らしで隣人と付合いないが、本当は顔がわかっている方がいい。 高齢者がさびしくないまち 高齢者が元気なまち	 病院の待合所のような老人が自然に交流できる場所があるといい。 高齢者による防犯パトロール。
緑のあるまち 空気のおいしいまち	市民による緑化活動
公共施設が充実しているまち 体育施設がたくさんあるまち スポーツのまち	市民の力で施設を活性化できないか。
治安がいいまち 散歩しやすいまち	防犯パトロールの実施→散歩する人が増える。 →治安のいいまちへ
交通事故の少ないまち 交通の便がいいまち 道が広いまち 歩道がしっかりしたまち	自動車、自転車を運転する人が意識を持つ。

公共交通の行き届いたまち	
ランドマークがあるまち 子どもの多いまち 遊び場（広場）のあるまち 娯楽の多いまち 市民みんながごみを分別するまち 生活インフラ（お店など）が整ったまち 騒音が少ないまち 働きやすいまち	

B グループ

どんなまちにしていきたい？	自分たちができることは何だろう？
愛着の湧くまち 歴史を感じるまち イメージが良いまち 他のまちにはない魅力のあるまち 星の見えるまち 移動しやすいまち 定食屋に入りやすいまち	市章を兜に 散策コースを設定、調べてブログで紹介 食べ歩きイベント ブログで地元アピール 駅名変更の事例を調べて、仲間を集めて提案する（西千葉駅を千葉大前駅に） 市名のネーミングを公募 千葉大周辺のガイドマップを作成 定食屋に通う なじみの店から地域情報を得る
会話が生まれるまち	イヤホンをしない
こどもが安心できるまち	「こどもの家」に駆け込む練習 →いざというときにすぐ駆け込めるように訓練をする。ハロウィンと日を重ねると入りやすい。 こどもの家のマークをアピール こども主役の祭りを開催 まちにトイレが少ないので、こどもが入りやすいよう「トイレ貸します」マークを作る
クリーンなまち	自治会のゴミ掃除に参加してみる 生ごみ収集 エネルギー自給 ゴミ箱を増やす
若者の投票率 NO1 のまち	投票事務でインターン 行政とのコミュニケーションをしっかりとる
案内表示が多いまち	色んな道を歩く（治安）

コンパクトにまとまっているまち きれいなまち（ゴチャゴチャしていない） 明るい（物理的に）まち 歩いていて楽しいまち 歩きだけで足りるまち 歩行者にやさしいまち 千葉大色のあるまち 治安の良いまち 災害に強いまち 物価の安いまち	千葉でたくさん消費する（物価）